

目 次

はじめに	v
序にかえて	xv
各論文の要旨	xxiii

第1章 モーダルをめぐって

.....	井上 和子	1
1. はじめに		1
2. 文の基本的構造		2
3. 先行研究と日・英語のモーダルの比較		4
3.1. モーダルの概観		4
3.2. 英語と日本語のモーダルの特徴		5
3.3. 日本語のモーダルの特徴		6
3.4. 日英語のモーダルの主要対照点		9
4. 先行研究の主要論点		9
4.1. Inoue (1989)		10
4.2. 安井 (1989) の論点		10
4.3. 省略のストラテジー		13
4.4. 日英語の対照点		13
4.5. 結論		16
5. 日本語の真正モーダルと擬似モーダルの特徴		16
5.1. 真正モーダルと擬似モーダル		16
5.2. 2種のモーダルの特徴		17
5.3. 真正モーダルの構造		17
5.4. 予測		19
5.5. (38a) の検証		19
5.6. (38b) の検証		20
5.7. 残された問題		21
6. 「そうだ」を用いた応答文		24
6.1. 「そうだ」応答文の構造分析		24
6.2. 意味論からの問題提起		25
7. 擬似, 真正モーダルの統語構造		26

7.1. 擬似モーダル	27
7.2. 真正モーダル	29
8. まとめ	30
9. モーダルの CP 領域内での機能	31
9.1. CP 領域の構造	31
9.2. CP の内部構造に関する注目点	32
9.3. 時制辞の役割	32
9.4. 終助詞について	33
9.5. まとめ	34

第2章 二重主語構文の構造

..... 久野 暉	37
1. はじめに	37
2. 二重主語複文構造仮説のパラドックス	42
3. 否定極性表現と主語繰上げ規則	44
4. 「主語繰上げ」構文は移動規則の適用によって派生する	45
5. 主語尊敬形マーキングと否定極性表現ライセンスとの相違	48
6. 否定極性表現ライセンスと二重主語構文	50
7. おわりに	56

第3章 副詞のかき混ぜと焦点解釈

..... 藤巻 一真	61
1. 序	61
2. かき混ぜと焦点	65
3. 副詞のかき混ぜ	68
3.1. 副詞におけるかき混ぜと焦点解釈	68
3.2. 副詞と述語の分類	69
3.2.1. 日本語の副詞の分類と語順制限	69
3.2.2. 総記の解釈と述語の種類	71
3.3. 副詞の節内のかき混ぜとガ格名詞句の解釈	72
4. 理論的考察	75
5. まとめと今後の課題	80

第4章 「所有者分離」と文構造

—「主語化」からの発展—

.....	長谷川信子	85
1. はじめに		85
2. 目的語からの所有者分離		91
3. ガ格付与と文構造		97
3.1. ガ格の位置		99
3.2. ガ格の位置と解釈		104
4. 焦点化の可能性と「ガ格局所性条件」		106
5. まとめと示唆		114

第5章 シテイルが持つ継続的状态性と結果の意味

—井上和子『変形文法と日本語』と事象投射理論—

.....	岩本 遠億	123
1. はじめに		123
2. 井上(1976)のシテイル分析		125
3. 事象投射理論		131
3.1. 事象投射理論とは		131
3.2. 「動き」と「変化」		134
3.3. 相変換関数		136
3.4. 相強制(解釈規則)		140
4. シテイルの概念構造		142
5. 結論: 継続性の含意と結果状態の取り出し		145

第6章 補文標識と Wh 句の共起関係について

—理由を表す Wh 付加詞を中心に—

.....	栗原 和生	151
1. はじめに		151
2. Wh 句と補文標識の共起関係		153
3. 精緻化された CP 構造による Wh 疑問文の分析		157
3.1. 理由を表す Wh 付加詞とそれ以外の Wh 句に見られる非対称性		157
3.2. 分析の帰結		166
4. Wh 疑問文における FocP の有無と「前提」の解釈		169
5. 結びにかえて—今後の課題		172

第7章 コト節におけるトイウの統語的機能

.....	眞鍋 雅子	177
1. はじめに		177
2. 文法化から見たトイウ		179
2.1. 文法化とは		179
2.2. トイウは文法化しているか		182
3. 統語的側面から見たトイウ		185
3.1. ト節の非叙実性		186
3.2. 「ト」と「イウ」に見られる統語的特徴		189
3.2.1. 「が・の」交替		190
3.2.2. 主語の「は」・モダリティ		192
3.3. 主語節におけるトイウ		197
3.4. コト節におけるトイウと叙実性		200
4. 結論		203

第8章 トピックと焦点

—「は」と「かき混ぜ要素」の構造と意味機能—

.....	中村浩一郎	207
1. はじめに		207
2. 先行研究		209
3. 「は」の機能		210
3.1. 対照主題 (CT) の「は」と対照焦点 (CF) の「は」		210
3.2. 「は」の機能について		211
4. 「は」で示される句の話題化と目的語かき混ぜ		214
4.1. Rizzi (1997) による精緻な CP 内部構造		214
4.2. フォーカスは量化に関わるが、トピックは関与しない		216
4.3. Information focus (情報焦点) と identificational focus (識別 焦点)		219
4.4. 「は」で示される話題化と統語構造		221
4.5. 網羅的識別焦点移動としての目的語かき混ぜ		222
4.6. 話題化と目的語かき混ぜの両方が関与する例		223
5. TT, CT, CF とかき混ぜとの共起について		225
6. 結論と残された問題		226

第9章 受益構文と、機能範疇としての「あげる」	大倉 直子	231
1. はじめに		231
2. 「てあげる」構文の構造と「に」名詞句の位置		233
3. 「あげる」の機能範疇としてのふるまい		239
3.1. 「再構造化」現象		239
3.2. 「あげる」動詞の音韻的・統語的・意味的变化		244
4. まとめと展望		247
第10章 タイ語の関係節構文	高橋 清子	253
1. はじめに		253
2. タイ語の関係節構文の特徴		256
3. タイ語の関係節化形式の多義性, 多機能性		258
4. タイ語の関係節構文の分類		261
5. 新たな分析		264
5.1. 関係節の断定性, 定形性		265
5.2. 関係節の主節への統合度		266
5.3. 関係節化形式の指示機能, 名詞性		268
5.4. 主名詞句の同定性, 定性		268
5.5. 主名詞句の特定性		271
6. まとめ		271
第11章 日本語の空主語とモダリティ	上田由紀子	277
1. はじめに		277
2. Kuno (1973), 久野 (1973, 1978) における主語名詞句の省略		278
3. 主語名詞句の解釈と統語位置		283
4. Force の指定部の具現化		287
5. 提案		289
6. まとめ		291

第12章 受益性のない事象における「ていただく」について
—「～に V してもらう」構文の機能的分析から—

.....	上原由美子	295
1. はじめに		295
2. 受益性のない「ていただく」の現象の整理		298
2.1. 受益性のない「ていただく」の文の語用的な意味・機能		298
2.2. 受益性のない「ていただく」が使われる場面		301
2.3. 受益性のない「ていただく」の統語的特徴①		301
2.4. 受益性のない「ていただく」の統語的特徴②		304
3. 「～に V してもらう」構文の機能的分析: 高見・久野 (2002)		306
3.1. 「てくれる」「てもらう」の基本的機能		306
3.2. 文の適格性に関わる4つの語用論的要因		309
4. 受益性のない事象における「ていただく」が成立するしくみ		311
5. 「指示」や「許可・可能性の提示」を表す際に、受益性のない「ていただく」が多く使われる理由		314
6. まとめと今後の課題		316

第13章 助動詞「まい」の形態統語的分析

.....	漆原 朗子	319
1. 序		319
2. 法要素の解釈と「まい」の分析		321
2.1. 英語の法助動詞に関する事実		321
2.2. 法助動詞の解釈と統語構造の対応		322
2.3. 「まい」の承接と解釈		323
2.3.1. 「まい」の承接に関する事実		323
2.3.2. 「まい」の承接と解釈の対応		324
2.3.3. 「まい」の承接・解釈と統語構造		325
3. 「まい」文と「が」格の共起制限		329
4. 「う・よう」の意味の限定と「だろう(であろう)」の文法化		331
5. 活用と投射に関する考察		332
6. まとめ		334

第14章 「が」と文の情報タイプ	
..... ヨフコバ四位 エレオノラ	337
1. はじめに	337
2. 情報構造と「新情報」	338
3. 「が」と新情報	341
4. 「が」の特殊な用法	341
4.1. 「眼前描写」	341
4.2. 「先行文脈には前提か既出の情報がある用法」	343
4.3. 「倒置指定」	345
5. 「接続語」	348
6. おわりに	351
索引	355
執筆者紹介	363